

(第1号様式)

教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成27年10月26日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	<input checked="" type="radio"/> ① 男性 <input type="radio"/> ② 女性
	住 所	岐阜県 岐阜 <input checked="" type="radio"/> 市・町・村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	<input type="radio"/> ① 20歳代 <input type="radio"/> ② 30歳代 <input type="radio"/> ③ 40歳代 <input type="radio"/> ④ 50歳代 <input checked="" type="radio"/> ⑤ 60歳代		
	情報の種類	<input checked="" type="radio"/> ① 意見 <input type="radio"/> ② 要望 <input type="radio"/> ③ 情報提供 <input type="radio"/> ④ 質問		
	回答の希望	<input type="radio"/> ① 教育委員会の回答を希望 <input checked="" type="radio"/> ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。) 学校の応援団になる			
<p>教育モニター情報連絡会議で話題になった「ふるさと教育」のことです。「ふるさと教育」が結果として「地元の自然や文化を継承していく」効果を発揮するのは良いことだと思います。ただ、その効果を目的にして、学校にきっかけづくりを求めるとしたら、学校の負担感は否めないでしょう。私は、「ふるさと教育」推進のポイントは「地域が主導」と「コーディネーターの存在」だと考えます。</p> <p>祭りや伝統芸能など地域の文化の継承は、地域の悲願です。そこで、「ふるさと教育」推進の指定校になった学校に、それぞれの地域で自然や文化財の保護活動にあたる人材が中心となり、「私たちがここまでやるので、学校で出来ることも考えてもらえないか」という提案をしたらどうでしょうか。そういった人材と学校とを結びつけるコーディネーターの役割は、学校の事情も地域の事情も多少なりとも分かっている立場の人が行うとよいと思います。</p> <p>また、あるNPO法人の活動を紹介します。</p> <p>NPO法人「岐阜立志教育支援プロジェクト」は小中学生が「志」をたて、夢や目標の実現に向かえるようサポートしています。「志授業」に関心のある学校に認定講師を派遣し、学期に1回、年間3回の授業を行っています。このプロジェクトは、岐阜県の目指す「高い『志』をもつ『地域社会人』の育成」に通じるものです。各務原市長は、この「志授業」に関心が高く、公務の合間を縫って年間何回か授業にも参加され、現在は、中央中学校区の4校（中央中、中央小、鵜沼第二小、陵南小）と那加第一小が「志授業」に取り組んでいます。このプロジェクトの取組や成果は、毎年8月に開催されるフォーラムで紹介されています。</p>				